

持続可能性（サステナビリティ）を学ぶ カンガルー島スタディツアー 参加者募集

最近よく耳にするけれど小難しい〈持続可能性〉。21世紀の鍵を握ると言われるこの概念をオーストラリアのカンガルー島で「体感」するスタディツアーを開催します。手つかずの大自然の中で地球環境や自然と人間との関わりに想いを巡らし、島内のサステナブルな実践から 3.11 後の日本のライフスタイル・食農・エネルギー・教育について考えるヒントを得ます。一般の観光ではなかなか体験できないプログラムです。ふるってご参加下さい。



写真：カンガルー島での散策

- ◆ 主催：日本国際理解教育学会
- ◆ 日程：2012年8月15日～23日（予定：詳細は学会ホームページをご覧ください。）
- ◆ 訪問地：オーストラリア（南オーストラリア州アデレード市及びカンガルー島）
- ◆ 趣旨：地球温暖化などさまざまな環境問題が問われる中、サステナブルな生活様式や産業で注目されているカンガルー島のエコハウスを拠点に、持続可能性についての講義を受け、現地の人々と生態系についてのフィールド調査を行い、ユネスコ等の推進する ESD（持続発展教育／持続可能な開発のための教育）を体験的に学びます。
- ◆ 費用：学会一般会員 248,000 円／学会学生会員 238,000 円
学会非会員（社会人）258,000 円／学会非会員（学生）248,000 円
※ 学会会員以外の方も参加可。上の費用には旅行保険代及び日本国内での旅費は含まれません。宿泊タイプ（シングル／ツイン）や航空券の燃油チャージの時価等によって費用が若干変動することもあります。
- ◆ 参加条件：環境問題や持続可能な発展、ESD について関心をもち、日常英会話程度のコミュニケーション力のある学会員及び非会員。必要な場合は要所で通訳がつきます。
- ◆ 定員：15 名程度（定員に達し次第、締め切らせていただきます）
- ◆ 申込：同封の参加申込書に必要事項を記入の上、**6月10日**までに下記の世話人（永田）までメール添付又はファックス（03-3407-5914）にてお申し込み下さい。申請書は学会ホームページからも入手可です。
- ◆ 問い合わせ：日本国際理解教育学会理事／聖心女子大学教員
スタディツアー世話人：永田佳之（メール：yoshy@pobox.com）



写真：エコハウスでの生態系に関する講義

★現地プログラムの内容（案）

アデレード市内の観光地（歴史博物館等）、カンガルー島内の ESD・環境教育実践校の見学、野生イルカ及びアザラシ等の観察、有機酪農場見学、自然保護地区でのレンジャーによる案内、平和教育及び ESD の専門家の B. ティーズデイル氏による講義、サステナブル・ハウジング（再生エネルギー等）の見学、有機ワイナリーの見学・食事等。さらなる旅程の詳細は学会ホームページよりご覧いただけます。